

# I 調査結果の概要

## 1 漁業・養殖業生産量

令和6年の我が国の漁業・養殖業の生産量\*は363万6,167 tで、前年に比べ19万3,655 t (5.1%) 減少した。

このうち、海面漁業の漁獲量は278万6,195 tで、前年に比べ14万210 t (4.8%) 減少した。

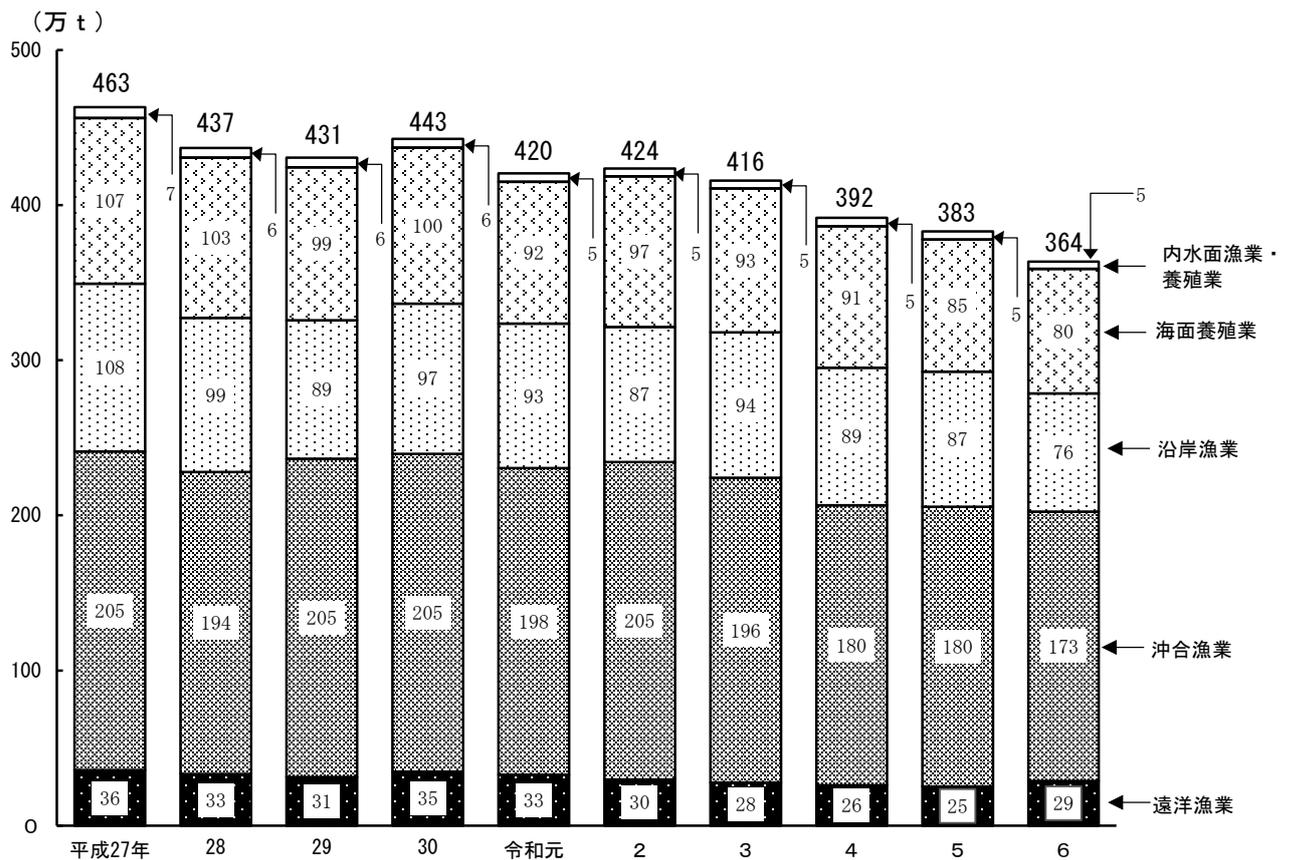
これを部門別にみると、遠洋漁業は28万9,287 tで、前年に比べ3万4,958 t (13.7%) 増加、沖合漁業は173万4,943 tで、前年に比べ6万5,799 t (3.7%) 減少、沿岸漁業は76万1,965 tで、前年に比べ10万9,369 t (12.6%) 減少した。

また、海面養殖業の収穫量は80万2,927 tで、前年に比べ4万8,582 t (5.7%) 減少した。

内水面漁業・養殖業の生産量は4万7,046 tで、前年に比べ4,862 t (9.4%) 減少した。

※ 生産量は漁獲量と収穫量の合計値である。

図1 漁業・養殖業生産量の推移



注：表示単位で四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

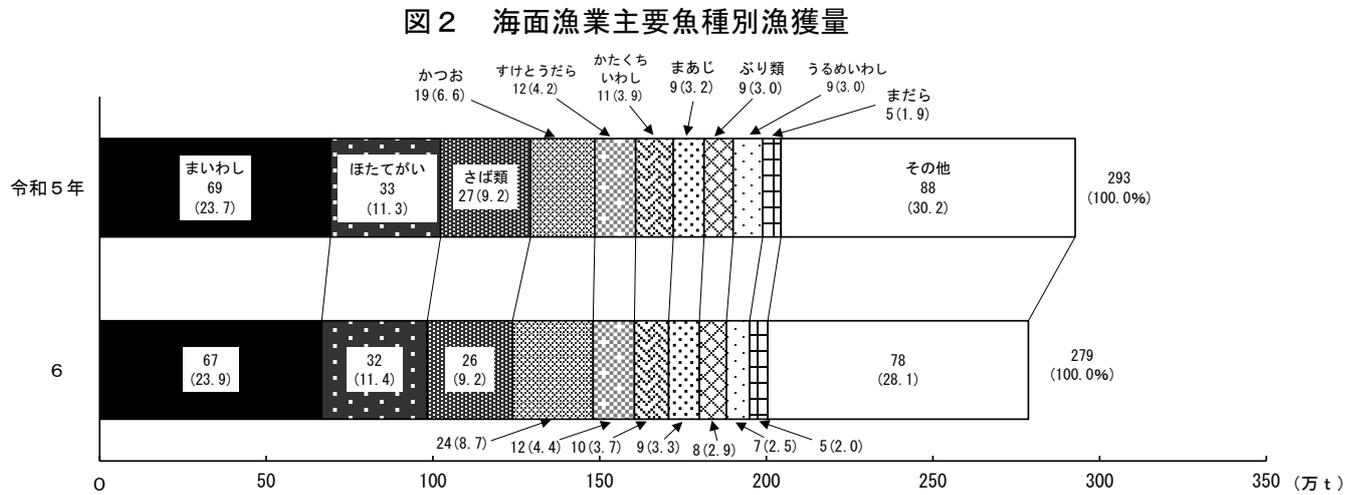
## 2 海面漁業

海面漁業の漁獲量は278万6,195 tで、前年に比べ14万210 t（4.8%）減少した。

### 主要魚種別漁獲量

海面漁業の魚種のうち、漁獲量が前年に比べて増加した主な魚種は、かつお、すけとうだら、まだらであり、減少した主な魚種は、まいわし、ほたてがい、さば類、かたくちいわし、ぶり類、うるめいわしであった。

この結果、海面漁業の漁獲量に占める主要魚種の割合は、まいわしが23.9%、ほたてがいが11.4%、さば類が9.2%、かつおが8.7%、すけとうだらが4.4%、かたくちいわしが3.7%、まあじが3.3%、ぶり類が2.9%、うるめいわしが2.5%、まだらが2.0%となった。



(1) まいわし

漁獲量は66万6,403 tで、前年に比べ2万6,296 t（3.8%）減少した。

(2) ほたてがい

漁獲量は31万6,717 tで、前年に比べ1万3,875 t（4.2%）減少した。

(3) さば類

漁獲量は25万5,875 tで、北海道、茨城県等で減少し、前年に比べ1万3,761 t（5.1%）減少した。

(4) かつお

漁獲量は24万1,653 tで、静岡県、宮城県等で増加し、前年に比べ4万9,434 t（25.7%）増加した。

(5) すけとうだら

漁獲量は12万3,574 tで、前年に比べて563 t（0.5%）増加した。

(6) かたくちいわし

漁獲量は10万2,699 tで、長崎県等で減少し、前年に比べ1万168 t (9.0%) 減少した。

(7) まあじ

漁獲量は9万2,282 tで、前年並みとなった。

(8) ぶり類

漁獲量は8万1,404 tで、千葉県、愛媛県等で減少し、前年に比べ5,780 t (6.6%) 減少した。

(9) うるめいわし

漁獲量は6万9,476 tで、島根県、長崎県等で減少し、前年に比べ1万9,497 t (21.9%) 減少した。

(10) まだら

漁獲量は5万4,539 tで、前年に比べ31 t (0.1%) 増加した。

図3 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移  
(令和6年における上位1位～5位)

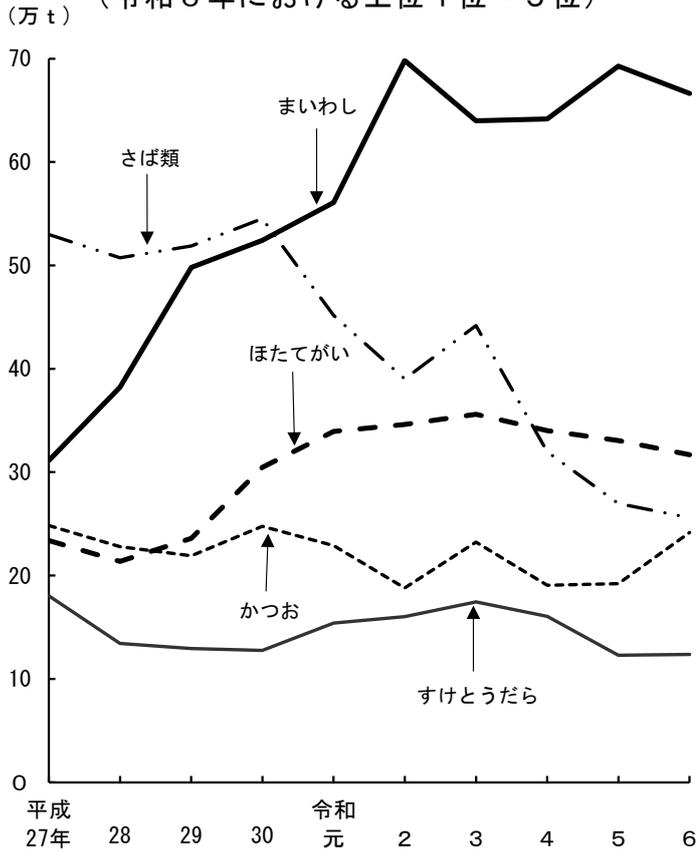
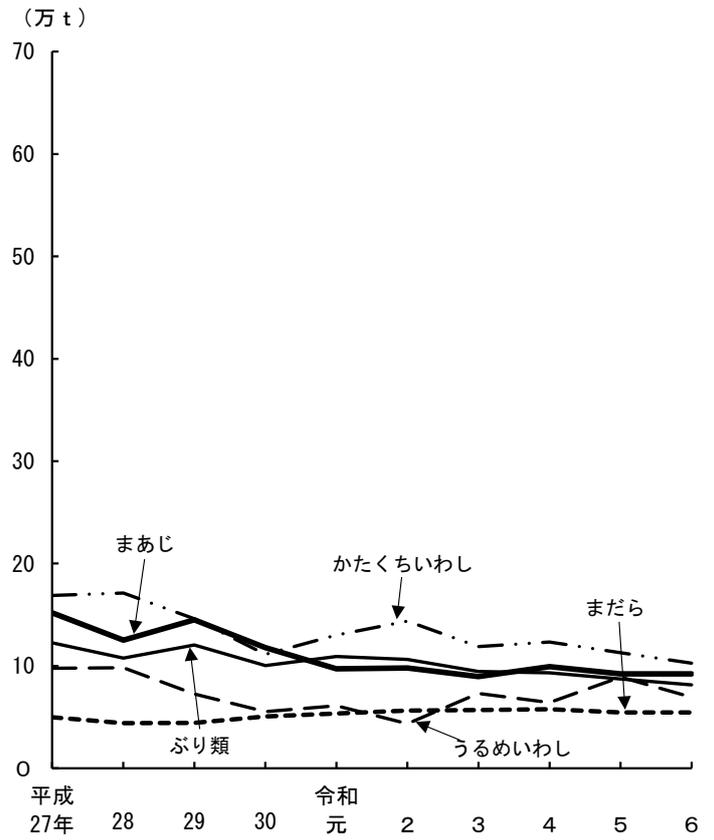


図4 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移  
( (同左) 6位～10位)



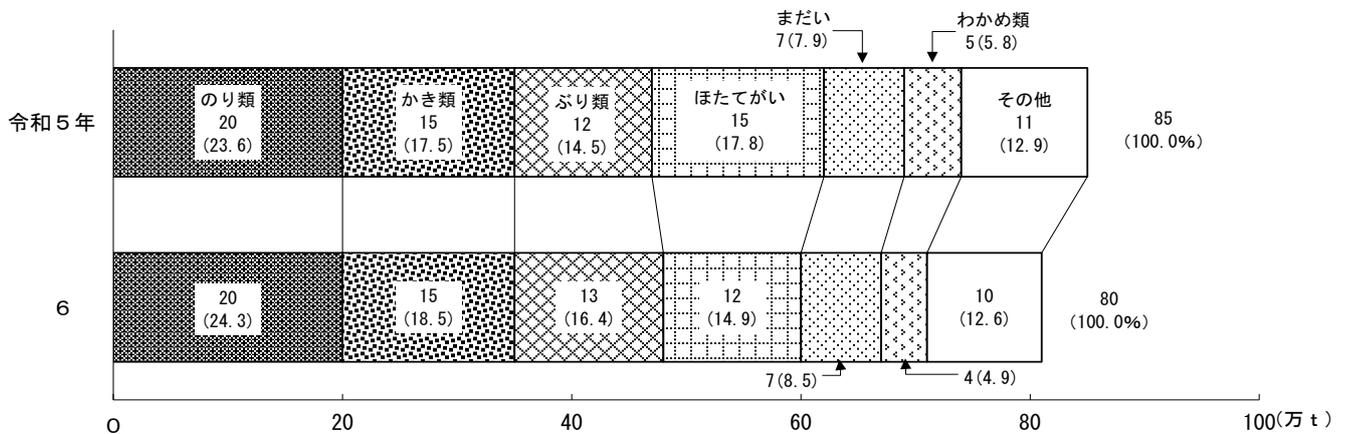
### 3 海面養殖業

海面養殖業の収穫量は80万2,927 tで、前年に比べ4万8,582 t（5.7%）減少した。

海面養殖業の魚種のうち、収穫量が前年に比べて増加した主な魚種は、ぶり類、まだいであり、減少した主な魚種は、のり類、かき類、ほたてがい、わかめ類であった。

この結果、海面養殖業の収穫量に占める主要魚種の割合は、のり類が24.3%、かき類が18.5%、ぶり類が16.4%、ほたてがいが14.9%、まだいが8.5%、わかめ類が4.9%となった。

図5 海面養殖業主要魚種別収穫量



#### (1) 魚類

収穫量は25万397 tで、前年に比べ7,036 t（2.9%）増加した。

##### ア ぶり類

収穫量は13万1,415 tで、愛媛県、大分県等で増加し、前年に比べ7,913 t（6.4%）増加した。

##### イ まだい

収穫量は6万8,439 tで、前年に比べ1,182 t（1.8%）増加した。

##### ウ くろまぐろ

収穫量は1万8,687 tで、鹿児島県等で増加し、前年に比べ2,487 t（15.4%）増加した。

#### (2) 貝類

収穫量は26万7,991 tで、前年に比べ3万2,812 t（10.9%）減少した。

##### ア かき類

収穫量は14万8,149 tで、前年に比べ915 t（0.6%）減少した。

##### イ ほたてがい

収穫量は11万9,450 tで、青森県等で減少し、前年に比べ3万1,861 t（21.1%）減少した。

図6 海面養殖業主要魚種別収穫量の推移（魚類）

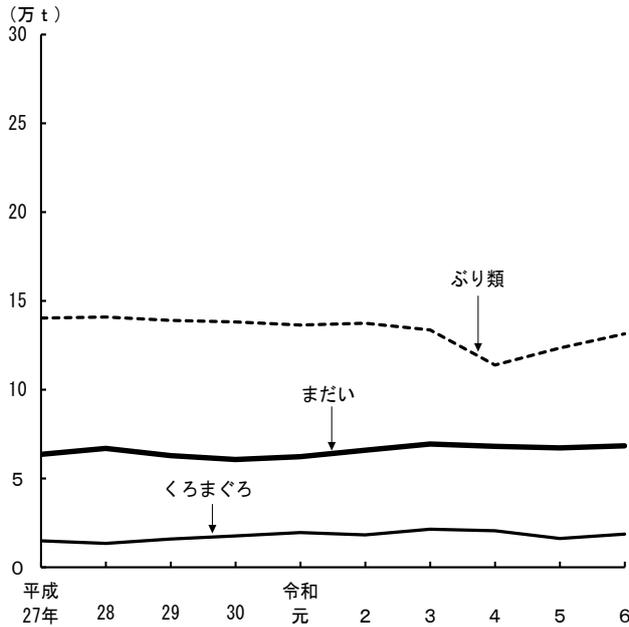
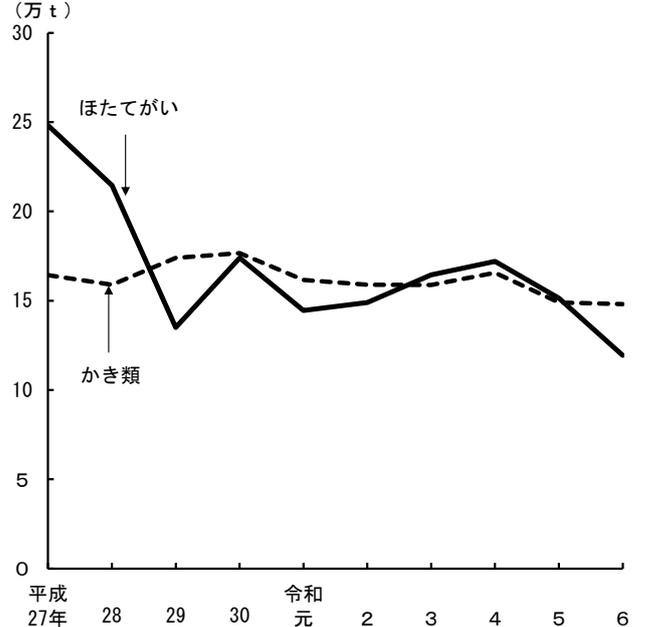


図7 海面養殖業主要魚種別収穫量の推移（貝類）



## (3) 海藻類

収穫量は27万8,120 tで、前年に比べ2万512 t（6.9%）減少した。

## ア のり類（生重量）

収穫量は19万5,048 tで、前年に比べ5,963 t（3.0%）減少した。

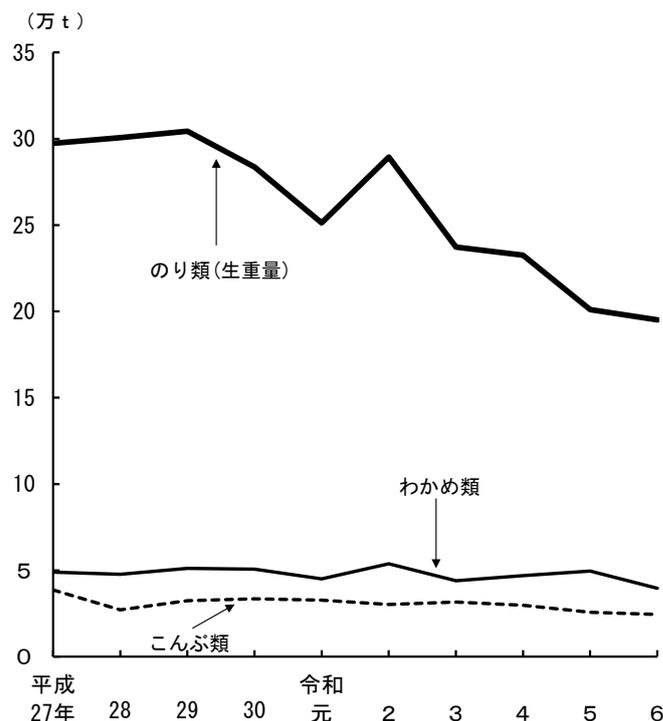
## イ わかめ類

収穫量は3万9,658 tで、宮城県等で減少し、前年に比べ9,930 t（20.0%）減少した。

## ウ こんぶ類

収穫量は2万4,554 tで、前年に比べ1,187 t（4.6%）減少した。

図8 海面養殖業主要魚種別収穫量の推移（海藻類）



#### 4 内水面漁業

内水面漁業（全国の主要142河川及び24湖沼）の漁獲量は1万7,915 tで、前年に比べ3,652t（16.9%）減少した。

(1) 河川・湖沼別漁獲量

河川における漁獲量は7,747 tで、前年に比べ3,537 t（31.3%）減少した。

また、湖沼における漁獲量は1万168 tで、前年に比べ115 t（1.1%）減少した。

(2) 主要魚種別漁獲量

ア しじみ

漁獲量は9,462 tで、前年に比べ251 t（2.7%）増加した。

イ さけ類

漁獲量は4,910 tで、北海道等で減少し、前年に比べ3,124 t（38.9%）減少した。

ウ あゆ

漁獲量は1,414 tで、栃木県等で減少し、前年に比べ283 t（16.7%）減少した。

エ わかさぎ

漁獲量は603 tで、前年に比べ18 t（3.1%）増加した。

オ ふな

漁獲量は248 tで、岡山県等で減少し、前年に比べ36 t（12.7%）減少した。

図9 内水面漁業主要魚種別漁獲量

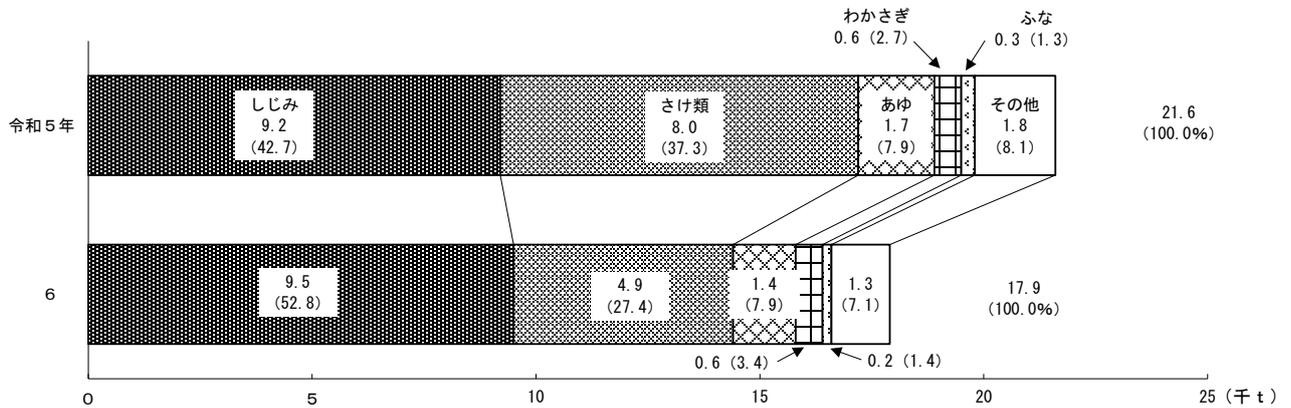
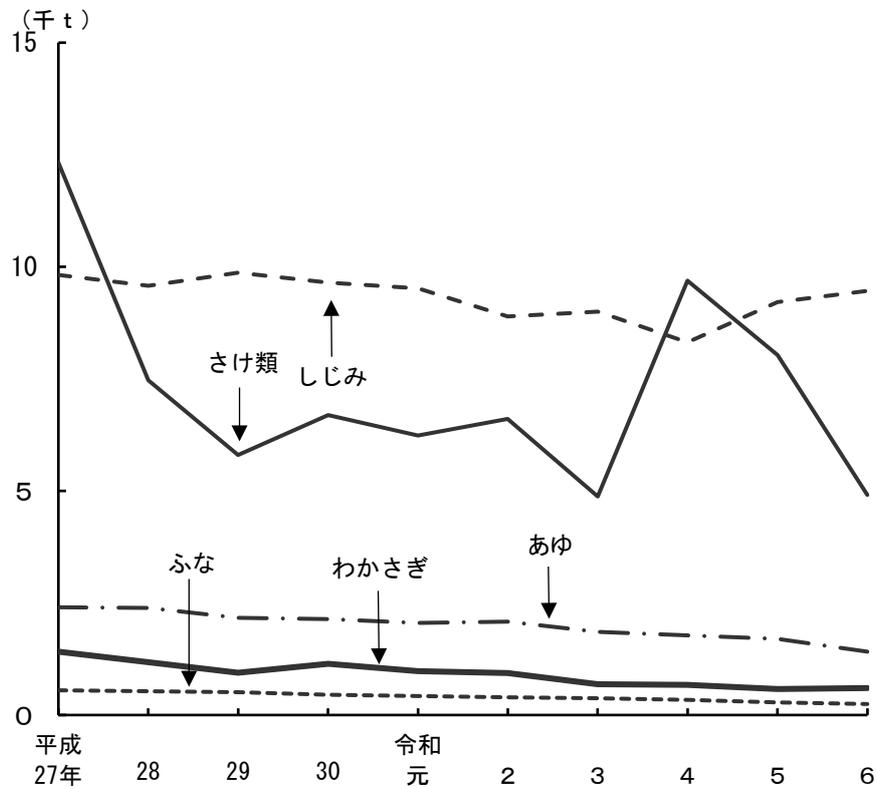


図10 内水面漁業主要魚種別漁獲量の推移



## 5 内水面養殖業

内水面養殖業の収穫量は2万9,131 tで、前年に比べ1,210 t (4.0%) 減少した。

### (1) うなぎ

収穫量は1万6,674 tで、宮崎県、鹿児島県等で減少し、前年に比べ1,667 t (9.1%) 減少した。

### (2) にじます

収穫量は5,202 tで、鳥取県、静岡県等で増加し、前年に比べ468 t (9.9%) 増加した。

### (3) あゆ

収穫量は3,487 tで、前年に比べ102 t (3.0%) 増加した。

### (4) こい

収穫量は1,617 tで、茨城県等で減少し、前年に比べ108 t (6.3%) 減少した。

図11 内水面養殖業主要魚種別収穫量

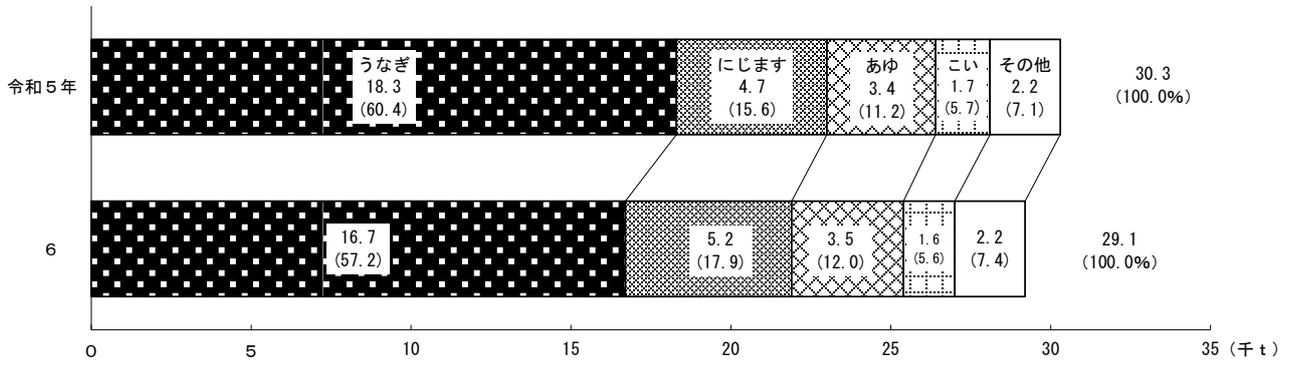
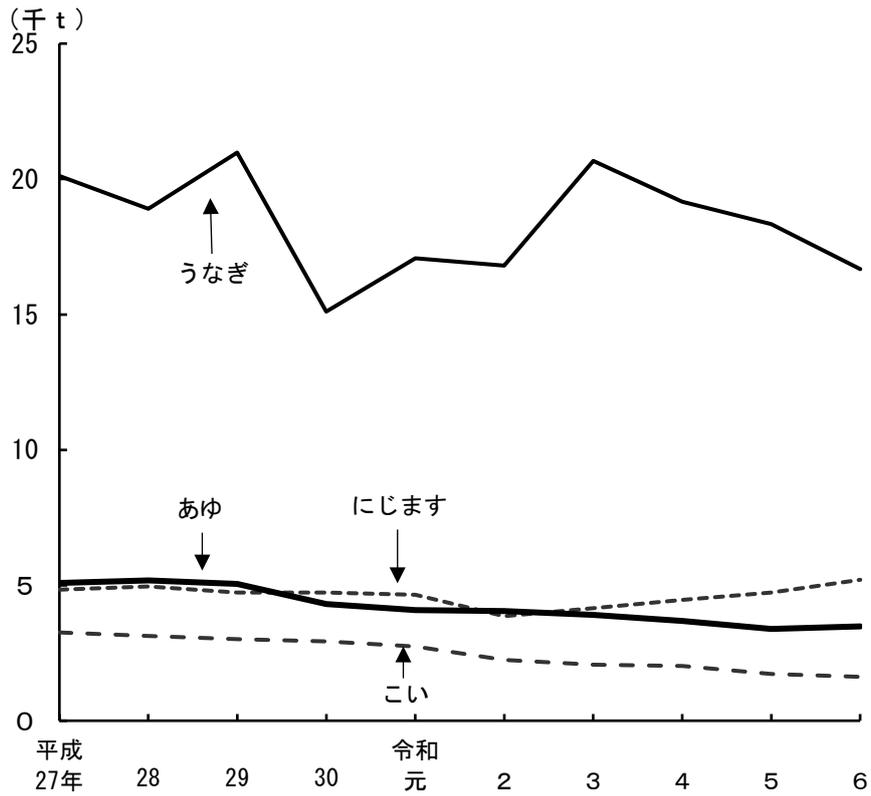


図12 内水面養殖業主要魚種別収穫量の推移



なお、観賞魚販売量について、にしきごいの販売量は248万5,155尾で、前年に比べ9万1,421尾(3.5%)減少した。